

都市再生整備計画 事後評価シート
松川地区

平成30年3月

長野県松川町

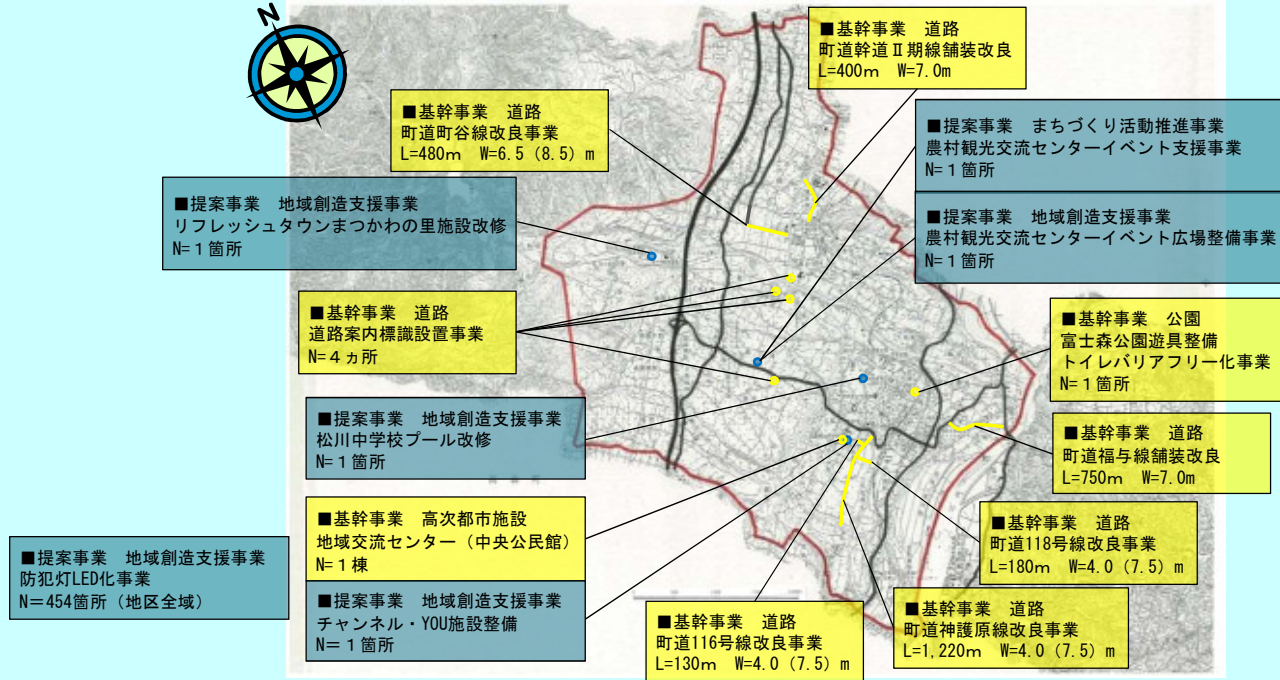
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	松川町		地区名	松川地区			面積	2,073ha		
交付期間	平成24年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	1610.4百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(神護原線、116号線、118号線、福与線、幹道Ⅱ期線)、公園(富士森公園遊具整備)、高次都市施設(中央公民館)										
		提案事業	防犯灯LED化事業、松川中学校プール改修、リフレッシュタウンまつかわの里施設改修、農村観光交流センターイベント支援事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	(1)神護原線排水路付替							(1)地元及び地権者との合意により道路拡幅を伴う道路改良(基幹事業)事業へ変更。これにより第2回計画変更(平成25年度)において提案事業より削除。	影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	(1)道路(道路標識案内) (2)道路(町谷線) (3)公園(富士森公園トイレバリアフリー化							(1)観光施設への案内を充実させるため平成24年度に追加 (2)子育て教育環境整備及び安全な交通ネットワークの形成のため平成26年度に追加 (3)多様なニーズに対応した公園整備を進める必要から、平成27年度に追加	影響なし		
提案事業		(1)地域交流センター(㈱チャンネルユー施設併設) (2)農村観光交流センターイベント広場整備							(1)住民要望を受け、基幹事業で整備予定の中央公民館へCATV併設事業を平成25年度に追加 (2)観光案内拠点における住民有志のイベント活動をハード面で支援する必要があることから平成25年度に追加	影響なし			
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		道路(神護原線)及び公園(富士森公園遊具整備・トイレバリアフリー化)について、計画を1年延長したが、指標、数値目標への影響はない。							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	社会教育団体登録児童生徒等(中学生以下)数	人	706	H23	700	H29	モニタリング	評価値	△	あり	絶対数(中学生以下の全児童生徒数)の減少が予想を上回り、そのことが評価値に影響した。目標値は達成できなかったが、中央公民館の整備により、施設の利用環境が向上し、利用団体数が増加した。(詳細は添付2-①及び2-②を参照)	
	指標2	観光人口	百人	2,490	H22	2,490	H29	2,525	2,643	○	あり		
	指標3										ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	松川町中央公民館利用延団体数	団体	1,467	24			1,441	2,274			当該施設の改修とCATVの併設により、利用団体数の増加につながった。	平成30年4月
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	観光人口:「観光地利用者統計調査結果」によるモニタリング 松川町中央公民館利用延団体数:施設を管理する松川町生涯学習課が把握している利用延団体数によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 交付期間途中で事業の効果確認することができた。モニタリング同様に「観光地利用者統計調査結果」により確認する。		
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

松川地区(長野県松川町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
テーマ「水と緑と太陽のまち まつかわ」 目標1: 町民が安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを推進します。 目標2: 「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図ります。	社会教育団体登録児童生徒等(中学生以下)数	706 H23	700	H29 553	
	観光人口	2,490 H23	2,490	H29 2,643	
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の交通ネットワーク形成が確実に進展するとともに、公園の遊具整備・トイレバリアフリー化により、子育て世代にも利用しやすい公園となった。 ・観光案内の拠点整備及び地区内の観光施設整備により、地区内への回遊性が向上し、観光交流人口が増加した。 ・数値目標(社会教育団体登録児童生徒等)には達しなかったが、社会教育施設の更新・複合化は、住民ニーズへの的確な対応を可能にし、更新後の施設利用者の増加につながっている。 ・過去に整備した公共施設等の更新時期が迫っているなかで、計画的な施設の更新や統合・複合化による効率性が求められている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連する基盤整備(ハード)は概ね達成されたので、今後の効果の持続は活用方策(ソフト)の問題となる。観光交流人口増加達成のためにソフト的な取り組みは、平成30年度に設立予定である観光局を中心として推進し、行政は側面支援を行う。 ・人口減少を抑制するため、今現在生活している住民が引き続き住み続けることができる安心安全な生活環境を提供する。 ・防災備蓄倉庫の整備、公共施設におけるトイレのバリアフリー化を進めるなど、万が一の災害にも対応できる「災害に強いまちづくり」を進める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他(計画区域の拡大)	●		計画区域:2,070ha	計画区域:2,073ha	観光産業の振興を図るため、観光拠点づくりに力を入れる中、平成25年3月におよびての森が森林セラピー基地の認定を受けた。それに伴い、当時計画区域外にあった当該基地を新たなまちづくりに活用するため計画区域を拡大した。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	神護原線	350	L=700m	482.6	L=1,220m	住環境の早期改善を図るため、計画期間における事業完成を目指す為、事業費、延長を増	影響なし		●
道路	116号線	30	L=130m	22	L=130m	事業精査による事業費の減	影響なし	●	
道路	118号線	40	L=180m	31.6	L=180m	事業精査による事業費の減	影響なし	●	
道路	福与線	70	L=750m	31.5	L=750m	事業精査による事業費の減	影響なし	●	
道路	幹道Ⅱ期線	40	L=400m	11.6	L=400m	事業精査による事業費の減	影響なし	●	
道路	町谷線	-	なし	130	L=480m	子育て教育環境整備及び安全な交通ネットワークの形成のため平成26年度に追加	影響なし		●
道路	道路標識案内	-	なし	10.2	4箇所	観光施設への案内を充実させる為、平成24年度に追加	影響なし	●	
公園	富士森公園(遊具整備)	5	A=5,298㎡	7	A=5,298㎡	整備する遊具を増加させ、子育て環境の充実を図る必要により事業費の増	影響なし		●
公園	富士森公園(トレイバリアフリー化)	-	なし	13	A=18.9㎡	多様なニーズに対応した公園整備を進める必要から、平成27年度に追加	影響なし		●
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設	地域交流センター(中央公民館)	610	N=1棟 A=2,124.36㎡	590	N=1棟 A=1,992.61㎡	事業精査による施設規模(床面積)の縮小及び事業費の減	影響なし	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし	
指標1	社会教育団体登録児童 生徒数(中学生以下)数	人	生涯学習課が社会教育関係団 体として登録・管理している団体 に所属する中学生以下のこども の人数から、評価基準日におけ る評価値を推計	-	-	706	H23	700	H29	モニタリング			モニタリング		●
										事後評価	確定 見込み ●	553	事後評価	△	
指標2	観光人口	百人	長野県が公表する「観光地利 用者統計調査結果」の松川町の 利用者延数の合計値から評価 基準日における評価値を推計	2,923	H13	2,490	H22	2,490	H29	モニタリング	H25	2,525	モニタリング	○	
										事後評価	確定 見込み ●	2,643	事後評価	○	
指標3										モニタリング			モニタリング		
										事後評価	確定 見込み		事後評価		
指標4										モニタリング			モニタリング		
										事後評価	確定 見込み		事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング		
										事後評価	確定 見込み		事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	予想以上に児童生徒数の減少が進み、従前値の維持という目標は達成できなかった。また、人口減少を抑制する施策を実施しつつも、全国的な人口減少の傾向のなか、当町においても子どもの絶対数の減少傾向は避けられない状況であり、1年以内の数値目標の達成見込みは困難であると判断した。しかし、子育て環境の充実という目標に向けては堅実に事業を実施し、将来の少子化・人口減少を抑制する基盤づくりができた。	目標値の設定に当っては、当町の少子高齢化の状況下において、中学生以下の延人数の減少見込みをどのように考慮したが不明であった。中学生以下の延人数がH23からH29で206人減少している状況であるにもかかわらず、評価値はそこまで減少していないのは、事業実施が一定の効果につながっていると判断する。
指標2	観光施設の計画的な整備と継続的なイベント支援(パンフレット配布等)、地区内の交通ネットワーク整備による回遊性の向上が相乗効果として観光交流人口の増加につながった。モニタリングでも数値を達成しており、事後評価は達成が見込まれる。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
			基準年度		基準年度							
その他の数値指標1	松川町中央公民館利用延団体数	団体	生涯学習課が施設利用申請に基づき把握・管理している中央公民館利用延団体数を評価値とする	-	-	1,467	H24	モニタリング	1441	H28	地域交流センターの整備効果は確実にあったと思われる、利用団体数の変化により、地区の住民活動の活性化を説明する。	当該施設の改修とCATVの併設により、利用団体数の増加につながった。
								事後評価	確定見込み ●	2,274		
その他の数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定見込み			
その他の数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定見込み			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
観光人口：「観光地利用者統計調査結果」によるモニタリング	予定どおり実施した	● 【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度10月 【実施結果】採用した指標は、長野県により毎年度整理・公表されている資料であるので、モニタリングを容易に実施することができ、かつ事業実施効果を確認することができた。	モニタリング同様に、毎年度の公表資料により確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
松川町中央公民館利用延団体数：施設を管理する松川町生涯学習課が把握している利用延団体数によるモニタリング	予定どおり実施した	● 【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度6月 【実施結果】採用した指標は、松川町生涯学習課により毎年度整理されている資料であるので、モニタリングを容易に実施することができ、かつ事業実施前の直近の数値として、現状を把握することができた。	モニタリング同様に、毎年度の公表資料により確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
松川町中央公民館建設委員会 ワークショップ委員会	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計20回 【実施時期】平成24年度～平成28年度 【実施結果】施設整備の内容等について住民の意見を聞いて合意形成を図ったため、新たな施設の規模・レイアウト等の内容決定が円滑に進むとともに、住民に中央公民館に対する愛着が生まれ、利用が促進された。	特になし
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
松川町中央公民館の愛称募集	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計1回 【実施時期】平成28年度 【実施結果】施設整備の際に住民から愛称を募集し、命名することにより中央公民館に対する愛着が生まれ、利用が促進された。	特になし
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
住民参加による農村観光交流センター運営委員会	予定どおり実施した	● 施設の維持管理については、町において行うが、センターの運営方針や事業内容、利用促進に関することについては、観光協会、農業者等をメンバーとした運営委員会が担う。	松川町農村観光交流センター運営委員会 組織の概要：町、町議会、農業委員会、JA、農業関係団体、生産組織、女性農業者、町観光協会	町は施設の維持管理を主に担い、観光協会や農業者の主体的な活動を推進する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(事後評価検討チーム)	関係各課担当職員(まちづくり政策課、総務課、建設課、産業観光課、こども課、生涯学習課)	平成30年2月7日	まちづくり政策課 企画財政係

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2	指標○	指標○	指標○				
指標名		観光人口							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路 神護原線	-	観光施設の計画的な整備と継続的なイベント支援(パンフレット配布等)、地区内の交通ネットワーク整備による回遊性の向上が相乗効果として観光交流人口の増加につながった。						
	道路 116号線	-							
	道路 118号線	-							
	道路 福与線	○							
	道路 幹道Ⅱ期線	○							
	道路 町谷線	○							
	道路 道路標識案内	○							
	公園 富士森公園(遊具整備)	-							
	公園 富士森公園(トイレバリアフリー化)	-							
高次都市施設 地域交流センター(中央公民館)	-								
提案事業	防犯灯LED化事業	-							
	松川中学校プール改修	-							
	リフレッシュタウンまつかわの里施設改修	◎							
	地域交流センター(チャンネルYOU施設併設)	-							
	農村観光交流センターイベント広場整備	◎							
農村観光交流センターイベント支援	◎								
関連事業	統合保育園建設事業	-							

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	整備した施設を活用しながら、引き続きソフト事業を展開させ、交流人口の増を図る。			
-------	---	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標○			指標○			指標○		
指標名		社会教育団体登録児童生徒等 (中学生以下)数											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路 神護原線	△	予想以上に児童生徒数の減少が進み、従前値の維持という目標は達成できなかった。しかし、子育て環境の充実という大きな目標に向けては堅実に事業を実施し、将来の少子化・人口減少を抑制する基盤づくりができた。	Ⅲ									
	道路 116号線	△											
	道路 118号線	△											
	道路 福与線	△											
	道路 幹道Ⅱ期線	△											
	道路 町谷線	△											
	道路 道路標識案内	-											
	公園 富士森公園(遊具整備)	△											
	公園 富士森公園(トイレバリアフリー化)	△											
	高次都市施設 地域交流センター(中央公民館)	△											
提案事業	防犯灯LED化事業	△											
	松川中学校プール改修	△											
	リフレッシュタウンまつかわの里施設改修	-											
	地域交流センター(チャンネルYOU施設併設)	△											
	農村観光交流センターイベント広場整備	-											
農村観光交流センターイベント支援	-												
関連事業	統合保育園建設事業	△											

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	基盤整備のみでなく、少子化を抑制する為のソフト事業も継続的に展開する。また、多様な社会教育団体が活動できるよう、町と関係団体との連携を強化する。		
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(事後評価検討チーム)	関係各課担当職員(まちづくり政策課、総務課、建設課、産業観光課、こども課、生涯学習課)	平成30年2月7日	まちづくり政策課 企画財政係

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
子育て支援及び教育関係施設について、老朽化や機能アップなどの住民ニーズに対応する必要があります。	目標1の数値目標は達成しなかったが、地域内の交通ネットワーク形成が確実に進展するとともに、公園の遊具整備・トイレバリアフリー化により、子育て世代にも利用しやすい公園となった。また、社会教育施設の更新・複合化は、住民ニーズへの的確な対応を可能にし、更新後の施設利用者の増加につながっている。	子育て世代のニーズに的確に対応した施設整備が引き続き必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視点で少子化(人口減少)を抑制する効果の高い施策を検討・実施する必要がある。 ・「交流」だけでなく「定住」し続けることができる住環境の整備が必要である。
くだもの里まつかわの特徴である観光産業関連施設の整備が求められています。	地区内の観光施設整備とともに、来訪者への分かりやすい案内標識の設置、アクセス道路の整備により、回遊性が向上し、観光交流人口が増加した。		
農村観光拠点として整備された農村観光交流センターを中心に、今後は観光や産業振興施策(ソフト事業)の推進を図る必要があります。	農村観光交流センターを拠点として、観光案内、町の魅力発信を継続的に実施しており、観光交流人口の増加につながっている。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	中央公民館を拠点とした、住民による生涯学習活動等の持続	・基盤整備(ハード)は達成されたので、今後は活用(ソフト)の問題。 ・住民自ら生涯学習活動を取り組めるよう、行政は側面の支援を行う。	・中央公民館におけるイベントの開催。 ・中央公民館を拠点とした自主的活動の情報発信及び活動に対する相談支援。
	リピーターにつながる観光振興	・観光関連の基盤整備(ハード)は概ね達成されたので、今後は活用(ソフト)の問題。 ・変化するニーズを的確に把握し、求められる観光サービスを提供する。	・観光局を中心とした、観光まちづくり事業の推進。 ・外国語標記の案内看板整備、Wifiなどの情報ネットワーク整備。

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	子育て住環境の更なる充実	・既存の公園で施設整備が不十分である箇所について、改善(改修)を行う。 ・引き続きソフト面からの子育て支援の充実を図る。	・公園等におけるトイレバリアフリー化。 ・子育て支援に係る各種補助事業を活用。
	安全で安心のできる住環境の整備	・地域防災計画において避難施設となっている体育館について、耐震補強及びトイレバリアフリー化を実施する。 ・災害時に必要となる資材、非常食等を保管する防災備蓄倉庫を整備する。	・避難施設(体育館)の耐震改修。 ・避難施設(体育館)のトイレバリアフリー化。

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	社会教育団体登録児童生徒等(中学生以下)数	人	706	H23	700	H29	確定 ●	553	△	あり	→			
							見込み			なし ●				
指標2	観光人口	百人	2,490	H22	2,490	H29	確定 ●	2,643	○	あり	→	平成30年度内	長野県より公表予定である「平成29年観光地利用者統計調査結果」を用いて、確定値を求める。	平成29年観光地利用者統計調査結果が公表され次第実施
							見込み			なし				
指標3				H	H	確定				あり	→			
						見込み				なし				
指標4				H	H	確定				あり	→			
						見込み				なし				
指標5				H	H	確定				あり	→			
						見込み				なし				
その他の数値指標1	松川町中央公民館利用延団体数	団体	1,467	H24	/		確定 ●	2,274	/		→	平成30年4月	担当課(生涯学習課)が集計した利用延団体数を確定値とする。	
その他の数値指標2				H	/		確定		/		→			
その他の数値指標3				H		確定					→			
						見込み								



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	統計情報として毎年定期的に公表される指標を用いることで、正確な数値を容易に集計することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため指標を設定する際には計測のことも考慮することが望ましい。 ・外的要因に影響を受けやすい指標を設定する際は影響内容を十分に検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点	目標値「社会教育団体登録児童生徒等(中学生以下)数」は従前値の維持ということで設定したが、目標値の設定に当っては、当町の少子化の状況下において、中学生以下の延人数の減少見込みをどのように考慮したが不明であった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	中央公民館整備に際し、建設委員会など様々な関係者から整備内容等について意見を徴したことで、内容決定が円滑に進むとともに、住民に中央公民館に対する愛着が生まれ、利用が促進された。	住民参加は事業を円滑にする上で有効である。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定

本計画の次期計画として、松川地区(平成30年度から平成34年度)を計画している。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町公式ホームページに掲載	平成30年2月17日～平成30年3月16日	平成30年2月17日～平成30年3月16日	担当課への電話、FAX、電子メール	まちづくり政策課企画財政係
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	-	H30.2.22	まちづくり政策課	-	既存組織(松川町議会)
その他の委員	松川町議会議員(14名)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特になし。
	成果の評価	特になし。
	実施過程の評価	特になし。
	効果発現要因の整理	効果発現要因が整理されていることが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	公表の方法については妥当であると認められた。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	次期計画に向けた取り組みが盛り込まれていることが確認された。
	フォローアップ	特になし。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくりは妥当であると認められた。
その他	特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画

まつかわ
松川地区

ながの まつかわまち
長野県 松川町

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成29年12月18日

計画の名称	1 松川地区都市再生整備計画事業										重点配分対象の該当																					
計画の期間	平成24年度～平成29年度（6年間）					交付対象	松川町																									
計画の目標	テーマ「水と緑と太陽のまち まつかわ」 目標1：町民が安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを推進します。 目標2：「くだものの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図ります。																															
計画の成果目標（定量的指標）	1. 子育て教育環境を充実させることにより、社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数を維持します。 2. 観光産業の振興を推進することにより、観光利用者数を維持します。																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H24当初)</th> <th>(H26末)</th> <th>(H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数</td> <td>706</td> <td>700</td> <td>700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>観光利用者統計調査における観光人口</td> <td>2,490</td> <td>2,490</td> <td>2,490</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H24当初)	(H26末)	(H29末)	当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数	706	700	700		観光利用者統計調査における観光人口	2,490	2,490	2,490	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	(H24当初)	(H26末)	(H29末)																													
当該年度の社会教育団体台帳へ登録されている団体のクラブ員（中学生以下のこどもの人数）数	706	700	700																													
観光利用者統計調査における観光人口	2,490	2,490	2,490																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1610.4百万円	A	1610.4百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	〇%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
1-A-1	都市再生	一般	松川町	直接	松川町	町道神護原線他		松川町						1,610.4																		
合計												1,610.4																				
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H24・H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	184.7	130.7	222.5	7.4	
計画別流用 増△減額 (b)	△ 69.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	115.7	130.7	222.5	7.4	
前年度からの繰越額 (d)	21.588	72.6	14.0	106.0	
支払済額 (e)	64.688	189.3	130.5		
翌年度繰越額 (f)	72.6	14.0	106.0		
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0%	0%	0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・子育て教育環境の支援や安全な交通ネットワークの形成、身近な公園整備により、町民が安心して子どもを生み、育てることができる環境を整備します。更に地域住民の交流拠点としての中央公民館では、住民からの要望により、施設内にチャンネルYOU(ケーフルテレビ)を設置することにより、より広く情報発信を行う施設としても活用していきます。</p>	<p>(基幹事業) 道路:神護原線、116号線、118号線、福与線、幹道二期線、町谷線 公園:富士森公園遊具整備及びトイレバリアフリー化 高次都市施設:中央公民館(地域交流センター) (提案事業) 地域創造支援事業: 防犯灯LED改修 松川中学校プール改修 リフレッシュタウンまつかわの里改修 地域交流センター チャンネルYOU併設 (関連事業) 名子保育園建設事業</p>
<p>・「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図るため、観光施設の改修やイベント等ソフト事業の展開を支援するとともに、幹線道路環境の整備を推進します。また、およりの森 森林セラピー基地の認定に伴う施設整備を実施することにより、観光施設と一体化した事業の展開を図ります。</p>	<p>(基幹事業) 道路:福与線、幹道二期線、町谷線 (提案事業) 地域創造支援事業: 防犯灯LED改修 リフレッシュタウンまつかわの里改修 農村観光交流センターイベント広場整備 まちづくり活動推進事業: 農村観光交流センターイベント支援事業 およりの森 森林セラピー基地受付・休憩ポイント及び駐車場設置</p>
<p>その他</p>	

